

## 新刊

□ Aleck Yang T. Y. 楊 宗愈: **Type Specimens of Taiwanese Plants Named by Dr. C. J. Maximowicz and Housed at the Herbarium, Komarov Botanical Institute of the Russian Academy of Sciences, St. Petersburg, Russia (LE) Special Publication Number 10** 国立自然科学博物館学術専刊 第10号. 90 pp. 2006. National Museum of Natural Science, Taichung. 国立自然科学博物館, 台中. ISSN: 1015-8391.

マキシモヴィッチ C. J. Maximowicz が記載に用いたタイプ標本はロシア, サンクト・ペテルブルグのコマロフ植物研究所に収蔵されている。本書はそのうち, 台湾産の種のタイプ標本を扱ったカラー写真集で, 維管束植物38種が取り上げられている。写真は楊博士が2001年6月23日から30日にかけて撮影したもので, 印刷も鮮明である。標本全体の写真のほか, 重要な部分の拡大写真やラベル, スケッチの拡大写真も添えられている。台湾産の種といっても, タカネハンショウヅル *Clematis lasiandra* やヤエヤマセンニンソウ *C. tashiroi* など日本と共通するものも多く, 日本の植物相を理解する上でも有用な書物である。このような出版物を計画・出版された楊博士に敬意を表する。入手に関しては楊博士 (E-mail: aleckyan@mail.nmns.edu.tw) に連絡をとっていただきたい。(門田裕一)

□ いがりまさし: **日本の野菊** 278 pp. 12.5 × 20 cm. 2007. ¥2,800. 山と溪谷社. ISBN: 978-4-635-07020-1.

1996年に「日本のスマレ」を刊行した著者が, その後10年を費やした作品だが, 「スタート時点である程度知識のあったスマレと違って, 野菊についてはノコンギクとヨメナの区別がやっとだった」と述懐している。たくさん専門家の助力があったとは言え, 著者のチャレンジ精神は見上げたものだ。吉田外司夫氏のヒマラヤ植物大図鑑もそうだが, いわゆる「専門家」でない人たちが, 昔なら専門家の縄張りを犯すようなことができるのは, 本人の努力が一番だが, それをサポートする「専門家」がたくさんいる世の中になったこ

とを意味するのだろう。卒論の学生にこういう課題を与えたい指導教官がいても, 周囲の先生方に「それがどうした」という態度をとられることは目に見えているから, とてもやれるものではない。

*Chrysanthemum*, *Aster*, *Nipponanthemum*, *Leucanthemelia*, *Matricaria*, *Erigeron* が取り上げられている。目次は頁順ではなく, まず属と節の検索表が示され, 検索チャート, 見分け方コラム, 野菊紀行と, トピックでまとめられている。この他に読み物コラムとして12篇の短文が挿入されているが, いわゆる穴埋め記事とは限らず, 「野菊の学名はなぜ変遷するのか」「亜種と変種と命名規約」「野菊の種とは何か」「野菊と染色体」など, 硬い記事が並んでおり, 著者の勉強ぶりが察せられる。

本文では生態, 全形, 花序のアップ, などのほか, 識別点として重要な総苞の接写が必ず添えられており, 種類によっては花序の断面や小花や果実の形態, ときには葉縁の形や葉形の変異なども, すべてカラー写真で示されている。説明は種類の記述には重点を置かず, 生態や撮影の際の観察記やその種類の研究の現状などが記されている。各節のはじめに種類識別のための検索チャートが示され, ときには分類的に離れているが類似している種類の識別用チャートもある。種類ごとの分布図を伴っており, 著者が実見したもの(赤), 標本で確かめたもの(緑), 文献に出ているもの(黒)と色分けされているが, その赤点がとても多いことが, 著者のフィールドワークぶりを物語っている。識別のむずかしいこの仲間を「野菊」としてまとめた著者の努力を多としたい。(金井弘夫)

□ 林 将之: **樹皮** ハンドブック 80 pp. 2006. ¥1,200+税. 文一総合出版. ISBN: 4-8299-0022-9.

本書は身近に見られる樹木や林業上重要な樹木を中心に, 158種の樹皮をカラー写真を用いて紹介している。成木の樹皮の形状から, 「横・筋」, 「平滑」, 「縦・筋」, 「縦・裂」, 「網・裂」, 「斑・剥」の六つのタイプに分け